

# Catch Ball

2019  
March

3

Vol.869

## CONTENTS 【特集】平成30年産農産物を振り返る 第1回

- 青年部・女性部・スプラの會が「雪んこまつり」で地元農業をPR ... 6
- フォトだより ... 7 ●理事会だより ... 8
- 第29回JA北海道大会パネルディスカッション(1回目) ... 9



1/27 JAの出向く事業《絆》体制は北美倶楽部の皆さんと営農改善センターの雪下ろしの手伝いをしました。



J A びばい管内の基幹作物である水稲をはじめ小麦・大豆・その他園芸作物の生育状況等を2号に亘り振り返ります。

今月は「水稲・小麦・大豆」編です。今年度の営農の参考にお役立てください。

## 水稲

### ▼気象経過と生育状況▲

#### 1 融雪と耕起作業

今年は3月の平均気温が平年よりやや高く推移し、日照時間が多く降雪も少なかったことから、融雪期は平年より5日早い4月2日になりました。(空知農業改良普及センター調べ。以下の農作業・生育期節も同様)。

耕起作業は、融雪も早く好天が続いたため、ほ場の乾燥が良く、耕起最盛期は4月30日(早7日)と平年より早まりました。

#### 2 は種作業

は種作業は、は種始4月16日(早4日)、は種期4月21日(早3日)と平年より3〜4日早く行われました。

#### 3 育苗

出芽期は4月27日(早3日)となり、は種から出芽までの日数は平年

並の6日間でした。

5月2半旬の平均気温は10℃を下回りましたが、育苗期間は全般的に好天となりました。そのため、移植時の苗は、平年よりもやや葉齢が進み、草丈の長いものとなりましたが、苗立枯病等の育苗障害は少なくなりました。

表1 「ななつぼし」の苗素質  
(農業改良普及センター 作況調査ほ場、中・成苗平均)

	H30年	平年	差・比率
草丈 (cm)	14.6	14.2	0.4
葉数 (枚)	3.8	3.7	0.1
莖数 (本)	2.8	2.5	0.3
第一鞘高 (cm)	1.6	1.4	0.2
乾物重 (g/100本)	4.0	3.3	121%
充実度 (乾物重/草丈)	0.3	0.2	150%

#### 4 移植作業

移植作業は、ほ場準備・苗の生育ともに順調に進んだことから、移植始5月17日(早5日)、移植期5月22日(早4日)、移植終5月26日(早5日)と平年より5日程度早く進みました。また、移植後の活着も良好

でした。

#### 5 初期生育

活着後の生育は順調でしたが、6月8日以降は低温・日照不足となり、生育が停滞しました。

特に、移植が遅かったり、老化苗を移植した水田や、風や除草剤の影響を受けたような水田では、莖葉の黄化や傷み等が見られ、生育の遅れが目立ちました。

表2 「ななつぼし」の生育経過  
(農業改良普及センター 作況調査ほ場、中・成苗平均)

調査月日	年度	草丈 (cm)	葉数 (枚)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	遅速 日数
6月1日	H30年	19.0	4.8	99	早3
	平年	16.1	4.5	99	
6月15日	H30年	28.9	6.7	231	早1
	平年	28.1	6.6	206	
7月1日	H30年	38.7	8.4	459	遅2
	平年	43.0	8.8	537	
7月15日	H30年	56.5	9.8	523	遅4
	平年	64.6	10.3	692	

#### 6 分けつ盛期・冷害危険期

幼穂形成期は、6月5〜7月3半旬まで続いた低温・日照不足の影響で、7月3日(遅2日)となりました。また、7月15日の莖数は、平年比76%と少なくなりました。前歴期間は、最低気温が10℃を下

回る日があるなど低温で経過したため、稔実歩合の低下が懸念されました。

#### 7 出穂

出穂期は、7月30日(遅3日)で気温はやや高く日照も多く推移しましたが、遅れ穂が多く穂揃いはやや不良でした。

出穂・開花期間の気温が高く推移したため、稔実歩合は平年並となりました。

表3 「ななつぼし」の生育期節  
(農業改良普及センター 作況調査ほ場、中・成苗平均)

	出芽期	活着期	分けつ始	幼穂形成期
H30年	4月27日	5月27日	6月6日	7月3日
平年	4月30日	5月30日	6月9日	7月1日
遅速	早3	早3	早3	遅2
	出穂始	出穂期	出穂揃	成熟期
H30年	7月27日	7月30日	8月4日	9月20日
平年	7月24日	7月27日	7月1日	9月11日
遅速	遅3	遅3	遅4	遅9

#### 8 登熟期間・成熟期・収穫作業

出穂期〜成熟期の日数(登熟期間)は、8月〜9月の気温がやや低く、日照時間も短かったため、52日と

平年より6日長く要しました。

収穫作業は、成熟期が遅れたことに伴い収穫始が9月20日（遅5日）と遅れてスタートし、収穫終は10月8日（遅8日）となりました。

## 9 収量構成要素・収量

中苗は、穂数が平年より約30%少なかったため、1穂粉数がやや多かったものの、総粉数は約25%少なくなりました。

成苗は、穂数が平年より約10%、15%少なく、1穂粉数もやや少なかったため、総粉数は10%、20%少なくなりました。

北海道農政事務所による南空知の10a収量（12月10日現在）は、452kg、作況指数87と発表されています。

品質は、青未熟粒が多く、製品歩留まりも低くなりました。その要因は、穂揃い不良による登熟のバラツキや、8月中旬の低温日照不足に伴う登熟の遅れによるものと推察されます。

また、タンパク含有率も高くなりました。これは、初期生育が不良であったため、収量構成要素が少なくなったこと、生育後半の窒素供給が多くなったことが要因と考えられます。

## 10 いもち病

8月2半旬に葉いもち病の初発が確認されましたが、その後の穂いもち

表4 収量構成要素（農業改良普及センター 作況調査ほ場）

品種	育苗様式	㎡穂数 (本/㎡)		1穂粉数 (粒/穂)		㎡総粉数 (粒/㎡)		稔実歩合 (%)	
		H30年	平年比	H30年	平年比	H30年	平年比	H30年	平年比
ななつぼし	中苗	477	71%	58.6	106%	27,333	74%	92.6	101%
	成苗	508	91%	60.3	97%	30,890	90%	92.9	100%
ゆめぴりか	中苗	490	67%	53.3	108%	26,146	73%	93.1	100%
	成苗	541	84%	49.3	92%	27,756	81%	89.4	97%

ち病の発生・拡大は見られませんでしたが。

## 11 カメムシ

カメムシの発生は、平年並でした。

12 紋枯病（疑似紋枯症含む）  
紋枯病の発生はやや多く、病斑が上位葉まで達しているほ場も見られました。

## 平成31年度に向けて

1 初期生育促進と穂揃い性向上対策  
ほ場の乾田化、適期移植、適正な移植深、分げつ発生を促進する移植後の水管理、側条施肥の割合向上など、基本技術を実践しましょう。

2 冷害危険期の深水管理の徹底  
幼穂形成期を必ず確認し、冷害危険期は深水管理を徹底しましょう。また、水深を確保できるように畦畔の補修を行いましょ。

## 3 いもち病対策

いもち病発生ゼロに向け、引き続き万全の対策に取組みましょ。

## 4 紋枯病対策

今年の収穫期に、止葉葉鞘まで病斑が達している株が見られたほ場は、翌年7月下旬（出穂前）に浅水として、葉鞘下部に十分付着するよう薬剤散布を行いましょ。

また、窒素肥料の多用や極端な密植は避けましょ。

## 5 雑草対策

ヒエやミズアオイなど、残草の多かったほ場が見受けられました。対象とする雑草に効果のある薬剤を選択し、適期散布や体系処理を行いましょ。

## 秋まき小麦（きたほなみ）

### ▼生育経過▲

○平成30年産秋まき小麦のは種始は平年より2日早い9月7日でした。しかし、9月中旬は降雨日が多く、は種作業は進まなかったことから、は種期が9月26日、は種終が10月5日で、平年より5〜6日遅くなり適期を逃したほ場も見られました。

表1 作業・生育期節と生育状況（きたほなみ越冬前）

	平成29年	平年	遅速（差）
は種始	9月7日	9月9日	+ 2日
は種期	9月26日	9月21日	- 5日
は種終	10月5日	9月29日	- 6日
出芽期	10月5日	9月27日	- 8日
根雪始	11月16日	11月29日	+ 13日
越冬前葉数	4.5葉	6.1葉	- 1.6葉
越冬前茎数 (本/㎡)	872本	1,191本	- 319本

○は種作業が遅れた影響で、出芽期は平年より8日遅れました。除草剤散布についても降雨日が多かった影

響で除草剤の土壌処理ができなかったほ場もありました。

越冬前の葉数は平年より1.6枚少ない4.5葉、 $m^2$ 当たり茎数は平年より319本/ $m^2$ 少ない872本/ $m^2$ に止まり越冬前生育量不足が心配されました。

表2 生育期節と遅速（きたほなみ越冬後）

	平成30年	平年	遅速(差)
融雪期(H30)	3月30日	4月6日	+7日
起生期	4月8日	4月11日	+3日
幼穂形成期	5月2日	5月5日	+3日
止葉期	5月24日	5月28日	+4日
出穂期	6月4日	6月6日	+2日
成熟期	7月21日	7月18日	-3日
収穫始	7月24日	7月21日	-3日
収穫期	7月26日	7月24日	-2日
収穫終	7月30日	7月28日	-2日

○根雪始は平年より13日早い11月16日に迎えました。雪腐病の防除については、断続的な降雨のため防除が難しい年となり、雪腐病の被害が心配されました。

○融雪期は3月30日となり、積雪期間は134日で平年より6日長くなりました。褐色雪腐病など平年より雪腐病の発生が多く、特に前年ののは種が遅れたほ場や、融雪水が滞り

たほ場では被害が著しく廃耕となったほ場がありました。

○4月3半旬から6月1半旬までは、気温、日照は平年を上回り、干ばつ傾向で推移したことから起生期、幼穂形成期、止葉期はそれぞれ平年より3日早く推移しました。

表3 生雪腐病の発生状況（空知農業改良普及センター本所）

	大粒	褐色小粒	黒色小粒	紅色	褐色	計
発生面積	0	601	55	191	2,897	3,684
割合	0	16%	2%	5%	77%	

○登熟期間中の日照時間は平年より1.8時間/日短くなり、生育は緩慢となり、成熟期では平年の3日遅れとなりました。

○は種時期が遅れ、十分な生育量が確保できず越冬し、生育期節は早く推移したことで、茎数は増加せず、草丈も低く推移しました。成熟期の稈長は

平年より5.8割短く、穂数は平年37本下回る737本/ $m^2$ 、穂長は平年並の9.2割でした。

○登熟期間が日照不足となったことや、7月2半旬以降、急速に蔓延した赤さび病による被害が発生したこ

となどにより、登熟はやや不良でした。子実粒の肥大が進まず、細麦となったため、製品歩留が低下し、収量も低収となりました。

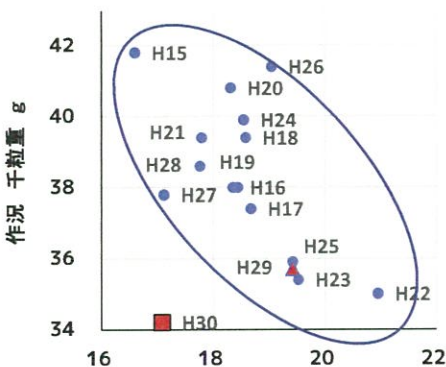


図3 開花期～成熟期の平均気温

図2 秋まき小麦茎(穂)数の推移(作況調査ほ)

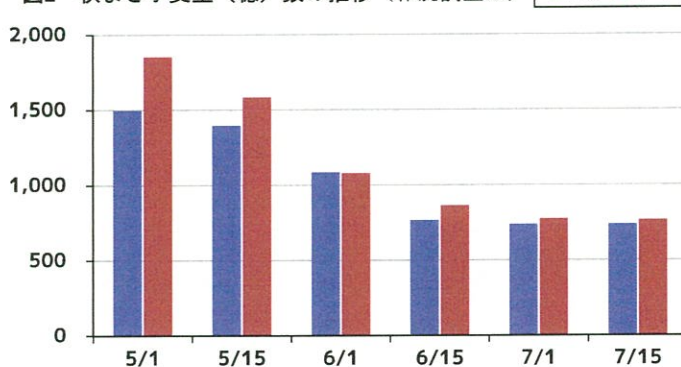
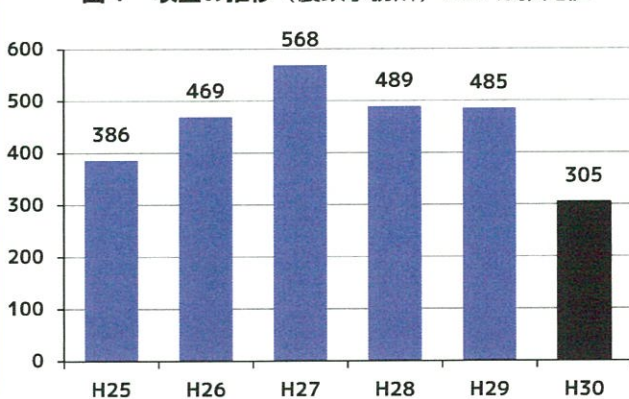


図4 収量の推移(農政事務所) H30は推定値



平成31年度に向けて

○は種時期は好天に恵まれ順調に進みました(は種始は3日早、は種期9日早、は種終9日早)。出芽期も7日早まりました。

○越冬前の草丈は25.2割(平年比152%)、葉数6.9葉/株(同116%)、茎数1690本/ $m^2$ (同148%)となり、一部で過繁茂となっているほ場も見られるため、起生期の茎数を鑑みた施肥管理を心がけてください。

○大豆間作小麦では、9月5日の台風21号により大豆の葉が飛散したため、小麦種子が露出し、出芽不良や

▼生育経過 ▲  
 ○平成30年産小麦の種作業は、平年より3日遅い11月15日に終了しました。  
 ○越冬後茎数は平年より16%多く、越冬状況は比較的良好でしたが、一部で糜耕となったほ場が見られるなど、ほ場間差が大きい傾向となりました。  
 ○幼穂形成期から出穂期までは概ね平年並で推移しましたが、6月2半旬以降は天候不順の影響を受け、登熟は緩慢となり、成熟期は平年より5日遅れました。  
 ○5月1日現在のm当たり茎数は、平年より4%少ない334本でした

## 春まき小麦（初冬まき栽培）

生育のむらが大きいは場がありましたが、冬損害をできるだけ少なくするために、融雪促進が重要となりましたので準備しましょう。  
 ○本年は、は種から根雪までの間が開いたことで、コムギ縮病、ムギ類萎縮病が発生するリスクが高まっています。幼穂形成期にかけてほ場巡回に努め、生育異常箇所（黄化）の発見に努めましょう。  
 ★秋まき小麦の減収要因は、連作障害だけでなく排水不良や低pH土壌も考えられます。額縁明きや補助暗きよの施工、土壌診断に基づく石灰質資材の投入を検討しましょう。

表4 生育期節と遅速（初冬まき）

	平成30年	平年	遅速（差）
は種終（H29）	11月15日	11月12日	- 3日
幼穂形成期	5月17日	5月16日	- 1日
止葉期	6月1日	6月1日	± 0日
出穂期	6月11日	6月9日	- 2日
成熟期	7月31日	7月26日	- 5日
収穫始	8月2日	8月1日	- 1日
収穫期	8月6日	8月4日	- 2日
収穫終	8月9日	8月7日	- 2日

## 平成31年度に向けて

が、5月中下旬は比較的気温が高く推移したことから、茎数の増加は順調に進み、止葉期頃（6月1日）には平年より21%多い857本となりました。  
 成熟期の穂数は平年より11%多い681本となり、稈長は77.2cm、穂長は8.0cmで平年並でした。  
 ○登熟は秋まき小麦と同様、やや悪く、低収となりました。また6月下旬〜7月中旬にかけて降雨日が多く、適期防除ができなかったほ場では赤かび病が発生し、品質低下の一因となりました。

図4 春まき小麦茎（穂）数の推移（作況調査ほ）

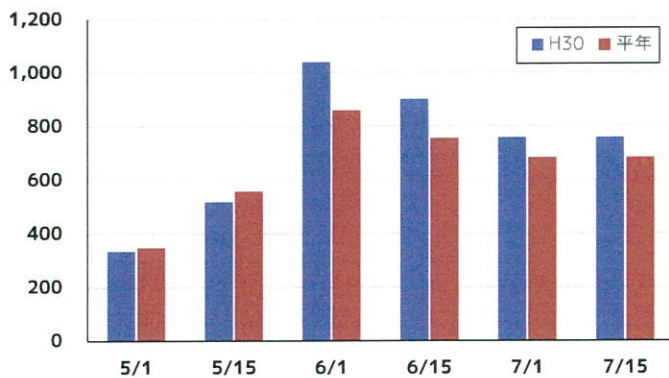


表2 大豆の作業・生育期節

	平成30年	平年	遅速（差）
は種始	5月15日	5月21日	+ 6日
は種期	5月22日	5月30日	+ 8日
は種終	5月31日	6月7日	+ 7日
出芽期	6月4日	6月12日	+ 8日
開花期	7月19日	7月19日	± 0日
成熟期	9月24日	9月24日	± 0日
収穫始	10月5日	10月5日	± 0日
収穫期	10月17日	10月15日	- 2日
収穫終	10月25日	10月24日	- 1日

## 大豆（ユキホマレ）

### ▼生育経過 ▲

○大豆のは種時期は好天に恵まれ、平年より1週間程度早く終わりました。  
 ○出芽期は好天の影響で8日早まりましたが、5月25日以降は6月8日まで、まとまった降雨がなかったことから、出芽が遅れたり不揃いになるほ場が見られました。  
 ○6月の気温は1半旬が平年より高かったものの、3半旬から4半旬にかけて平年よりも低い期間が続きました。降水量は6月1半旬と4・5半旬が平年より少なく、2・3・6

○積雪期間が長いと越冬率が低下するため、融雪材散布による融雪促進に努めましょう。  
 散布時期：最高気温0℃以上が続く日（3月1日〜10日頃）  
 散布資材：アッシュ類、融雪炭力ル等40〜60kg/10a  
 ※散布後15cm以上の新雪が積もった場合は再度散布します。  
 ※ばらまき栽培では凍上書を回避するため、極端に早い融雪材散布を避けます。  
 ○融雪後、ほ場に入れるようになったら直ちに窒素肥料を施用します。  
 排水性の悪いほ場では、額縁明きよの設置を検討しましょう。

半月が多くなり、日照時間も平年を下回りましたが、出芽期が早かったことから草丈や葉数は平年を上回りました。

○7月は1〜3半月の気温が平年並から低く経過し、日照不足と多雨も重なったために大豆の生育は停滞しました。7月15日以降の生育は草丈、葉数ともに平年を下回りました。開花期は平年並でしたが、出芽が遅れたほ場では、開花が遅くなりました。

○8月は2〜4半月の気温が低く日照時間も総じて少ない中で、2〜5半月まで降水量の多い期間が続きました。

○9月は平年並の気温経過でしたが、日照時間は3・4半月が多かった以外は平年よりも少なく、降水量は総じて少なく経過しました。また、9月5日の台風21号に伴う強風により本葉が吹き飛ばされるなど葉落ちが早まり、成熟期は平年並となりました。

○10月は1〜2半月の降水量が平年よりも多くなりましたが、平年並に収穫が始まり、収穫終もほぼ平年並でした。

○生育期間中に低温・多雨・日照不足など天候不順に見舞われたため、着莢数と百粒重は平年を下回り、子実重も平年よりも少なくなりました。

○マメシクイガの発生時期は平年

並みでしたが、フェロモントラップに多数捕獲される地域もありましたが、適切な防除により子実への食害は昨年よりも減少しました。

## 平成31年度に向けて

○本年は降水量の少ない期間と多い期間が交互に現れましたが、5月から9月の積算降水量は772mm(平年比141%)の多雨の年でした。

○湿害は根を傷め、莖葉の生長や莢付き、子実の肥大を抑制します。管内の大半は転作田であり、多雨による湿害を受けやすい条件にあるので、速やかに停滞水を排除できる準備が必要です。

○暗きよの点検だけでなく、あらかじめ、額縁明きよや無材暗きよなどの補助暗きよを整備しておくことが大切です。

○作物が生育している場合でも、水稻用の明きよ掘機を活用することも検討しましょう。

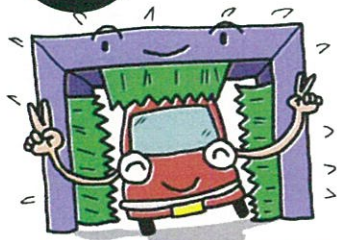


写真1 額縁明きよに停滞水を速やかに排水

【文責】 水稻・小麦・大豆：空知農業改良普及センター

## JAびばい ホクレン美唄セルフ給油所

# ドライブスルー洗車機が **リニューアル**



新しい「ドライブスルー洗車機」は **豊富な洗車メニューと洗浄力が抜群!**

無数の3Dセンサーが、隅々まで感知します。リアスポイラー車でも洗い残しがありません。

軽トラック専用  
シャンプーコース **300円**

当店だけの  
自慢のコース



高圧下部洗浄つき

### 基本メニュー

- ワックス洗車 **600円**
- シャンプー洗車 **400円**
- 水洗い洗車 **300円**

【オプションも内容充実】下部洗浄に自信があります。設置式高圧下部洗浄で簡単綺麗!常識をくつがえす驚きの高圧洗浄!アンダーコートにも最適です。プレミアムメニューの「鏡面クリスタル」「超撥水ポリマー」「撥水の各コート」処理も是非、お試し下さい。

JAびばい ホクレン美唄セルフ給油所 ☎0126-62-2600

牡羊座



珍しく優柔不断になりやすい月。1人で悩まず、信頼できる人に相談を。半身浴や足裏マッサージが幸運

《モナ・カサンドラ》

3月



今月のあなたの運勢

2019.3

5

J A 青年部・J A びばいスプラの會

## 雪像を作り美唄の農業をPR



- 写真右：青年部が作ったシンボルキャラクター「おぼろ関」の雪像
- 写真左：スプラの會が作った「雪のトラクター」の雪像
- 写真下：就業後に集まり、車のヘッドライトを頼りに雪像を作るスプラの會のメンバー

2月2日から2日間、美唄市役所前の中央公園で開催された「第66回美唄雪んこまつり」の会場にJA青年部（加藤雅樹部長）とJA職員（米麦課・佐藤諒會長）が雪像を作り来場者に美唄の農業をPRした。

青年部は昨年の創立70周年を記念して考案した同部のシンボルキャラクターの「おぼろ関」、スプラの會は「雪のトラクター」を作った。

加藤部長は「JA青年部をもっと身近に感じてもらい、少しでも市民とJAを繋ぐ役割になればと思い製作した」と雪像に期待を込めた。

同まつりの雪像作りに参加するのは青年部が2年目、スプラの會は4年目になる。雪像作りにはテーマがあり、今年は「滑り台」だった。



J A 女性部

## 「食」で美唄農業をPR



JA女性部の川田照子部長ら役員8人は、2月3日に「美唄雪んこまつり」会場内で豚汁200食を来場者に無料で配り美唄農産物のPRと地産地消を呼びかけた。

具材は部員が丹精を込めて作り、貯蔵していた玉ねぎや白菜、じゃがいもなどを使った。味噌は女性部加工部会が手作りで仕込んだ味噌を使った。

準備時から配布を待つ来場者が列を作る人気ぶり、開始から30分足らずで配り終えた。

■熱いから気を付けてと声をかけて豚汁を手渡す女性部役員







## JA北海道 中央会

JAグループ北海道は平成30年12月17日に、北農ビルで9月に刈り取った稲の脱穀やしめ縄づくりを行いました。田植えから稲刈りまで、1年を通して行ってきた食育活動「街なか田んぼ」の最終回として、中の島興正保育園の園児10名が参加し、園児自らが茶碗を使って稲を脱穀、すり鉢で粳すりをした後、精米機を使って精米まで行いました。ご飯が炊けるまでの間、稲わらを使ったしめ縄づくりも体験。最後は炊きたてのご飯でおにぎりを握り、自分たちが作ったお米を味わいました。



## ホクレン

ホクレンは、冬においしい北海道かぼちゃ「りょうおもい」をアピールするイベント「冬至には『りょうおもい』を食べよう!」を昨年12月15日、札幌市清田区のイオン札幌平岡店で開きました。同店の青果売り場で「りょうおもい」を販売するとともに、(株)もりもとの協力を得て、「りょうおもい」を使用したぜんざい1,000食を2回に分けて来店客に提供しましたが、それぞれ1時間ほどで終了する盛況ぶりでした。



## JA北海道信連

昨年12月に、地域貢献活動の一環として、サンタクロースに扮したJAバンクのキャラクター「ちょリス」が、被災地のむかわ町、厚真町、安平町と釧路市・中標津町の幼稚園等10カ所を訪問しました。

園児らと野菜しりとりゲームやダンスなどで楽しく交流し、最後にちょリスからクリスマスプレゼントを贈りました。

地震により被災した地区の子供達も、ちょリスとの触れ合う時間を楽しんでいました。



## JA北海道厚生連

12月18日、札幌厚生病院小児科病棟にてクリスマス会が開催され、北海道コンサドーレ札幌の深井選手と菅選手、ドーレ君らが病院を訪問されました。この企画は、JAグループ北海道とコンサドーレとの相互協力協定に基づき、食育とスポーツ文化、地域文化振興にかかわる事業の一環として行われ、今年が11回目となります。プロ選手を目の前にして、緊張気味の子どもたちでしたが、PK合戦やダンスで緊張もほぐれ大いに盛り上がりました。



## JA共済連北海道

2月4日から11日まで開催される「第70回さっぽろ雪まつり」大通会場4丁目にて、『平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール』の入賞作品63点を展示します。交通安全の大切さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの力作をぜひご鑑賞ください。

JAとJA共済連北海道は、今年もさまざまな地域貢献活動に取り組んでまいります。



## 理事会だより

### 定例理事会

1月18日

### 臨時理事会

1月25日

#### 《報告》

- ①平成30年12月末現在、業務財務報告
- ②農家経済改善対策委員会報告
- ③特定組合員の収支実績報告
- ④平成30年度棚卸資産調査について
- ⑤決算・予算スケジュールについて
- ⑥JAびばい発展プロジェクト答申報告
- ⑦平成30年度決算推定報告
- ⑧その他

#### 《議案》

- ①共済規程の一部変更について
- ②国民年金基金の事務委託に関する覚書の再締結について
- ③特定組合員に対する資金の貸付について
- ④平成31年度リース物件(コイン精米機)の取得について
- ⑤農産物共同販売共同計算実施要領の廃止および共同計算基本要領の新設について
- ⑥その他

#### 《その他報告事項》

- ①大豆数量払戻金実行報告
- ②経済事業業績報告
- ③その他

…全議案承認

#### 《報告》

- ①常務委員会報告
- ②コンプライアンス委員会報告
- ③JAバンク基本方針の変更について
- ④平成30年度コンプライアンス・プログラムを検証について
- ⑤役員報酬審議委員会答申報告
- ⑥その他

#### 《議案》

- ①目的積立金の取り崩しについて
- ②平成31年度コンプライアンス・プログラムの設定について
- ③退職職員に対する特別加給退職金の支給について
- ④職員給与規程の一部改定について
- ⑤特定組合員に対する資金の貸付について
- ⑥その他

#### 《その他報告事項》

- ①平成31年度産米「生産の目安」設定状況報告
- ②准組合員アンケート結果報告
- ③その他

…全議案承認



# 第29回 JA北海道大会 (平成30年11月13日)

## ～ パネルディスカッション ～

### テーマ「多様化する組合員ニーズに応える 新たな協同組合の価値創造」

JA北海道大会当日に開催したパネルディスカッションの内容を2回に分けてご紹介します。

JAは4月に立ち上がりました。JA、



青竹 豊氏

(一社)日本協同組合連携機構  
(JCA) 常務理事

元々は新聞社で農林水産業の取材に携わり、今は東日本大震災、特に福島原発事故で被災した地域の取材に行っています。取材を通じ、協同組合の意義について考えさせられる機会も度々あります。



行友 弥氏

(株)農林中金総合研究所  
顧問 特任研究員

テーマは、議案第2号に係る協同組合の価値づくりです。難しいテーマですが、前回大会と2回の実践フォーラムを通じ、各地で様々な取り組みを開始していると思います。これまでに総括し、新たなステップに繋げるための段階として、JAの持つ多様な役割を再確認する場とさせて頂きたい。あわせて、今後の実践のヒントをパネリストの皆さんから頂き、持ち帰ってもらえればありがたい。



宮入 隆氏

北海学園大学 教授

宮入教授 まず、「組合員との関係強化」について、報告事例も踏まえて討論します。生協と農協の共通の課題も多くあると思います。多様な組合員ニーズへの対応として、組合員の自主性を保ちながら、新たな参加の形をどうしていくか。組合員の想いをくみ取り、新たな活動に変え、組合員参加の多様な形を実現させるといふ示唆に富む報



【事例報告】  
①生協における組合員との関係強化  
②持続可能な開発目標(SDGs)と協同組合間連携



小野寺俊幸氏

JA北海道中央会副会長  
JAとこころ 会長理事

全道JAの代表であり、一生産者として、組合員のニーズにどう応えていくか。最も難しい問題について、考えていきたい。パネリストの皆さんの話の中で、一つでもヒントを得たいと思います。

生協、森林組合、漁協など様々な協同組合の連携を広げるために設立。私は4月まで日本生協連にありました。協同組合の連携を、より強めることについて、知っている範囲で事例報告をさせて頂きたい。

告でした。  
行友顧問 事例報告のキーワードは「元氣」「楽しく」「多様」「地域に」でしょう。生協の活動をどういう方向に高めていくことが大切だと感じました。地域が抱える課題は人口減少・少子高齢化などを背景に複雑化・多様化しています。協同組合も規模が大きくなると、サービスを一方的に供給することになりがちですが、組合員自身の参加で課題を解決する流れを作ることが大事です。JAは農政の実務を担ってきた歴史もあり、組合員が受け身になりやすく、自ら能動的に組合運動に参加する意識が薄れているのかも知れません。生協も同様の問題を苦労して乗り越えようと思われています。  
宮入教授 受動から能動へ切り替える難しさ。想いをくみ取って、参加スタイルを多様にする。生協も実現までにご苦労があったと思います。  
青竹常務 各生協で、参加をどのように広げていくか、大きな悩みを抱えながら、日々格闘している。JAの方が、農業者にとつてなくてはならない存在であり、先輩だと思っています。お互いに交流しながら、時代にあった参加の仕方を磨いていきたいです。  
宮入教授 JAも生協も、組合員活動をどう支援するかが基本。組合員の多様化の中で、今までと違い、世代間のギャップなどが課題にあれば伺いたい。  
小野寺副会長 JAも70年の歴史を経た中、若い人たちに、どうやってJAに結集してもらうか。農協運動の中で組合員が何を求めているか。若い人たちが農協運営者の目線、考えのギャップが大きく出てきており、そこに農協運動の難しさがあります。  
地震で被災したJAの施設に、若い人が結集して、被災したコンテナや馬鈴薯など

射手座



感情的になりやすい期間。特に家族など、身近な人に口うるさくしないよう、冷静に。開運には手料理を作っ

蠍座



前向きな気持ちになれます。ためらっていたことにも積極的に取り組めば、好変化が。自己アピールも成功の兆し

を、自分たちの力で片づけ、1週間かかる作業が2日間で終わった。

若い人たちが農協に結集すると、すごい力となって働く。若い担い手の力の素晴らしさ。普段は、口にしなくても、何かあればJAに結集して、仲間や友を助ける自分のJAという想いに感銘を受けた。

**宮入教授** 組合員との関係強化と言いつつもは自然に存在しているが、何かあったときに、JAに入っていて良かった、組合員で良かったと感じることも大きいのでは。福島取材でのお話などあれば。



**行友顧問** 住民が長期避難した地域では農業が空白状態になりましたが、飯館村などでは最初にお年寄りが戻り、最近若者が移住して就農するケースも出てきています。

そういう地域は人の繋がりが濃密で支えあいの土壌があります。社会関係資本(人間関係)が豊かな地域は、災害からの回復力が強いのではないのでしょうか。協同組合は、それを体現する組織であり、大事だと思えます。

**宮入教授** 『組合員との関係強化』について、組合員の自主性をどう協同活動に活かすか。JAでも、組合員の想いを、上手く活かして事業にしていけることが、ニーズの多様化の中で求められると思う。

生活スタイルも世代も異なる人たちがJAに参加している。そういう声をどう聞き取るか。具体的な方法として、アンケートもあるが、声をじっくり聞き取って形にするか。生協の事例について、もう一度、お聞かせいただけます。

**青竹常務** 生協の職員にとつては、生活や子育てへの組合員の想いを聞き取る力が大変重要だ。

**宅配担当職員**は、週に1度、組合員と顔を合わせ、いろんな質問や悩みを聞く、生協をやめると言われる場合もありますが、その背景を聞き取ることが大事。また、近畿の生協では、職員研修で、JAにお願いをし、一定の期間、畑や牛舎、鶏舎など、生産現場を体験させてもらっています。

本日の大会議案で、若いJA職員に組合員の会議への参加を位置づけています。現場・組合員の所に行くことが重要であり、その中で、聞き取る力や相手の想いを受け入れる力が育ちます。このことが、人と人が作る協同組合の大きな特徴だと思えます。

**宮入教授** 聞き取った内容を情報交換する場所はあるのでしょうか。

**青竹常務** すぐに対応できるものは対応し、重要な商品クレームなどは、組織対応に引き上げることもあります。

クレームやお問い合わせ・要望を登録し、組織全体あるいは役員会・理事会で状況をつかむためのデータベース作りを進めている生協も増えています。

**宮入教授** 担当者も変わる中でデータベースにクレーム等も含めて、声を溜めることが、新たな取り組みに繋がるといってお話。なるほどと思います。



多様な組合員ニーズという意味で、北海道の組合員数の80%に及ぶ准組合員との関係づくりをどうするか。准組合員との関係づくりについて教えてください。  
小野寺副会長 前回大会で、550万人サ

ポーターづくりを掲げ、准組合員をはじめ、消費者の皆さんと、食と農で繋がることを目指して活動をしています。農業者もある意味で消費者だと考えますと、多様な消費者があり、生協からも、色々と学んでいかないとはいけませんし、これからは、生協を含めて色々な方々と手を結び、横の連携を広くして、農業だけの目線で見るのではなく、多様な人たちの意見を農協が取り入れられるかに尽きると思います。北海道の世帯数の60%以上が、生協に加入しています。生協における組合活動の素晴らしさを、我々も認識し、組合員との関係強化に向けて、目線移していけないといけないと考えています。

**宮入教授** 准組合員調査を通じて、准組合員はJA事業利用に対して正組合員に近い考え方を持っていると感じています。自ら准組合員になっていく方々の声を、聞き取っていくことも大事だと思います。

**行友顧問** JA横浜では、准組合員向けの農業体験講座が発展して正組合員の農業を手伝う援農ボランティアの取り組みとなり、正組合員と准組合員の関係を作る契機にもなっています。北海道は、准組合員の割合が高く、農協がないと地域が持たない部分もあると聞きます。地域の様々な課題に対応するうえで、正と准の垣根を低くして、協力しあう関係作りが必要だと思います。

**宮入教授** JA事業でライフラン・インフラを維持している地域が数多く存在するのでも事実で、あつてはならないが、准組合員の利用が規制されると、JA事業も影響を受けます。正と准の支え合いを、目に見える形で作っていく必要があると思います。

…4月号へつづく

ご協力のお願い

# かつて農協、漁協、森林組合などの

## 農林漁業団体にお勤めしたことのある方

(農業共済組合、厚生連病院、土地改良区、農業会議、たばこ耕作組合、漁船保険組合、農事組合法人など)

転職のため退職した  
結婚して苗字が変わった

### 住所未登録の方を探しています

農林年金から今まで一度も連絡がない方

農林年金の制度完了について重要なお知らせを送付するため、住所未登録者を探しています。  
平成8年12月31日までに退職された方の住所が登録されていない可能性があります。

連絡窓口 農林年金住所登録専用ダイヤル **03-6811-0550**

農林漁業団体職員共済組合(農林年金)  
<http://www.norin-nenkin.or.jp/p2018/index.htm>



平成31年度

# 春季地域別懇談会は3月25日から

出席頂くと300ポイントが付与されます！



平成31年度春季地域別懇談会の開催日程は、下の表のとおりです。組合員皆さまのご出席をお待ちしています。

開催月日	開催時間	参集範囲(地区)	開催場所(会場)
3月25日(月)	9時30分より	有為・癸巳	癸巳福祉会館
	13時30分より	沼の内	沼の内中央会館
	18時00分より	進徳・一心	一心第2会館
3月26日(火)	9時30分より	茶志内1・2・協和	茶志内中央福祉会館
	13時30分より	茶志内3	茶志内福祉会館
	18時00分より	共練・東明	共練生活館
3月27日(水)	9時30分より	上美唄	上美唄福祉会館
	13時30分より	中村	中村福祉会館
	18時00分より	開発・上美唄開拓	開発福祉会館
3月28日(木)	9時30分より	元村・山形	西美唄福祉会館
	13時30分より	北美唄	北美唄営農改善センター

## こよみ・行事

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 4日 ○第2回監事会  
○決算自治監査 (8日まで)
- 事業推進委員会 (5日まで)
- 11日 ○第3回監事会
- 14日 ○企画会議
- 19日 ○定例理事会
- 21日 ○春分の日
- 25日 ○春季地域別懇談会 (28日まで)

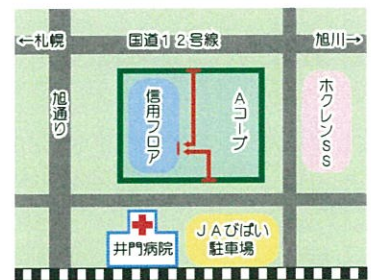
## 休日 ローン&共済相談会

日時▶平成31年3月9日(土)

9:00~16:00

会場▶JAびばい本所1階信用フロア

マイカーやマイホームのご購入をお考えの方やお借り換え、ご自身の保険など、ローンや保険のご相談をお受け致します。



お問い合わせはこちら

金融課 TEL: 63-2163  
共済推進課 TEL: 63-2164

モナ・カサンドラ【プロフィール】 占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を開いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。  
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>

魚座



自信が芽生える星回り。さまざまな分野に挑戦したくなるので、動いてみて。意見やアイデアの発表も正解

JAびばい



©ちよリス



©ちよリス

# マイカーローン キャンペーン

増税前の  
9月までが  
チャンス!

## 平成31年9月30日(月)まで

お得な金利をご提案しています。JA事業利用に応じてさらにお得に！  
※金利引き下げ条件の詳細内容は窓口にお問い合わせ下さい。



### 特典①《キャンペーン金利》

北海道農業信  
用基金協会  
保証の場合  
※准組合員にご加  
入いただけます。

#### 変動金利

キャンペーン  
基準金利 **3.20%** (通常 4.10%)

最大引き下げ幅  
1.00%

最軽減金利 **2.20%**  
《保証料 0.50% 込み》

#### 固定金利

キャンペーン  
基準金利 **3.60%** (通常 5.35%)

最大引き下げ幅  
1.00%

最軽減金利 **2.60%**  
《保証料 0.50% 込み》

信販会社  
保証の場合

#### 変動金利

キャンペーン  
基準金利 **3.45%** (通常 4.35%)

最大引き下げ幅  
1.00%

最軽減金利 **2.45%**  
《保証料 0.75% 込み》

#### 固定金利

キャンペーン  
基準金利 **3.85%** (通常 5.60%)

最大引き下げ幅  
1.00%

最軽減金利 **2.85%**  
《保証料 0.75% 込み》



### 特典②

組合員の方は、お持ちのポイントカードに  
**0.05%**相当のポイントを還元します♪



### 特典③

新規ご契約の方には、借入額に応じた  
粗品を進呈いたします。

詳しいご相談は  
JAびばい窓口まで

## JAびばい 金融課《融資係》

融資係直通：TEL 63-2163

## 編集後記

天皇陛下の退位そして皇太子が即位する今年、またオリンピックが開催される来年と「休み(国民の休日)」に変化があります。

今年皇太子が即位する5月1日を「今年限りの祝日」にすることが決まり、ゴールデンウィークは10連休に！「国民の休日」に挟まれる平日は「休日」とする法律(祝日法)があるためです。さらに10月22日も「即位礼正殿の儀」にあたり「今年限りの祝日」になります。

またニュースで報じられましたが、東京オリンピックが開催される来年に限って「海の日(7月の第三月曜)」を開会式前日の7月23日(木)に、「体育の日(10月の第一月曜)」を開会式当日の7月24日(金)に、「山の日(8月11日)」を閉会式の翌日となる8月10日にそれぞれ移動する法案が成立する見込みとのことです。

休日って「オセロ」みたいだと思ったり、移動できる「祝日」があるんだと初めて知りました。

休日が増えるのは嬉しいことなんです。財布の中身や仕事のことを考えると…。皆さん、しっかり準備をして特別な「休日」と「年」を迎えましょう！

# J A の 概 況

## < 1 月 末 >

○皆さんの貯金	25, 055, 810千円
○皆さんへの貸出金	4, 841, 702千円
○皆さんの出資金	713, 960千円
○組合員数	(正) 806人 (准)3, 867人 (計)4, 673人

美唄市農協生活改善  
運動推進協議会



一月二十六日死去  
(九十五歳)

▼山崎 巽さん

一月九日死去  
(九十六歳)

沼の内  
▼小野 作次郎さん

■お悔やみ申しあげます■



合格おめでとう！  
これからの活躍を  
期待しています。

《中 級》  
米 麦 課 古 賀 智 史  
金 融 課 小 高 田 智 史  
総 務 課 小 山 田 智 史  
《農業経営診断士》  
企画相談課 宮 田 光

農協資格認定試験合格者

平成5年5月1日入協  
平成31年2月28日退職  
長い間お疲れさまでした



宮農販売部 米麦課  
三浦 繁美

■ 退 職 者 ■



## JAびばい女性部 部員募集!

JAびばい女性部は、一緒に楽しく活動をする部員を募集しています。  
野菜の栽培・加工技術を勉強したい方、女性同士で楽しく研修やレジャーをしたい方…  
農業の関わる女性ならではの悩みを持っている方…などなど、大歓迎です!



- ◆会 費 年1,000円
- ◆加入特典 総合ポイントを進呈します。  
《新規加入者》 300ポイント  
《女性部イベント参加》 100ポイント/回

### 《 主なイベント 》

- 部 員 研 修 日帰りで施設見学や製作体験をします。(食事は美味しいランチも!)
- 農 村 女 性 講 座 講演会や手芸講習会などテーマは多様!楽しく学習をします。
- 生 活 作 品 展 アイディア料理を持ち寄って試食をしたり、手芸品の展示もします。
- 収 穫 祭 「新米おにぎり」の試食や手芸品の即売を行い、地元農業のPRと市民との交流をします。

女性部についてや新規加入ご希望の方は、お気軽に下記までご連絡下さい。

**JAびばい 企画相談課・女性部事務局：藤田または松本**

TEL 63-2165 (課直通) FAX 63-4600